

## — 「佐藤秋雄＝羽山太郎を偲ぶ会」への呼びかけ—

### 佐藤秋雄さんを偲ぶ刻を

誰もが佐藤秋雄のことを好きだった。少年の面影が残る表情のひとつひとつがともいえるだろうか。久しぶりに顔をあわせると、ほっとするというか、なんか自然にうれしくなるのだ。人は何と呼んでいたのだろうか。「アキオ、アキオちゃん」など様々だったのだろうが、人を引き込むような笑顔が忘れられない。

彼が癌を患い、何度も苦しい闘病生活をやってきたことをみんな知っていた。でも、会えば彼はそんな素振はどこには見せず、涼しげな表情だった。「今度はここを取ったのだよ」という彼の語り口というか、振舞いに驚きとともに、救われた思いになった。本当は苦しいことも、泣きたいこともあったのだと思うが、彼の美学というか、対応は爽やかだった、ここには彼の他者への思いがあったのだろう。

彼と出会ったのは1960年の安保闘争の後だった。安保闘争の余燼も残るところだったが、その記憶は定かではない。活動する人たちも減り行く運動のなかでだった。今年はこの安保闘争から60年目ということになるが、思えば遠い昔のことだ。僕には遠いという感じはないのだけれど、あれから僕らは様々なかたちで付き合い合ってきた。ある時は志を同じくする政治グループの一員として、ある時はそのグループの中での対立するものとして。そして、多くの屈折を経ての闘いの中で顔を合わし、お互いに共感しあうものとして。また、数少ないメンバーの研究会をやるものとして。

長い付き合いは僕の人生の重要な要素を構成してきた。そして今年の5月、彼の死は、唐突というか突然にやってきた。これは僕が彼の病状を知らないうかつさに過ぎないのかもしてない。

たとえ、そうであったにしても死は唐突にやってくる。人の死にあうたびにいつも思う、「もう少し話でもしておけばよかった」という悔いもある。僕は今になってでも彼の事を話したい。そんな刻を持ちたい。彼を偲ぶ会を呼びかける。

2020年6月呼びかけ人代表・三上治

#### <呼びかけ人>

三上治・平岡臣実・北山峻・八木健彦・吉本昇・田中正治・渡邊義明・米田隆介・松平直彦・旭凡太郎・高橋道郎・莊茂登彦・高原浩之

#### <事務局>

江村信晴・大賀英二・大越輝雄・木根輝雄・木村孝司・坂本俊・佐藤昇・嶋田悦司・杉浦英夫・長坂啓司

**会 場**：水道橋・韓国 WMCA アジア青少年センター（裏面の会場地図参照）

**日 時**：9月12日午後2時より4時半まで（1時半に開場します）

**会 費**：4000円（会場の都合で事前に下記連絡先に参加申込みをお願いします）

**連絡先**：tel 090-9152-2956、Eメール [zeesans@gmail.com](mailto:zeesans@gmail.com) いずれも長坂啓司まで

**申込み**：電話又はEメールにて、7月末日（第一次締切り）まで受付けています。

